

仕様書

1. 工事概要
1. 工事場所 広島県三原市城町1丁目18-6
2. 建物概要

Table with 5 columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による床面積(㎡), 消防法施行令別表第一の区分, 備考. Includes building name and floor area.

3. 工事種目 (○印の付いたものを適用する)

Table with 3 columns: 建物別及び建物の工事種目, 福祉会館, 工事種別, 屋外. Lists various construction items like air conditioning, plumbing, and electrical work.

4. 指定部分 ※無し・有り(工期平成 年 月 日)
対象部分:

5. 設備概要

Table with 2 columns: 設備概要, 仕様. Details equipment specifications for air conditioning, heating, and plumbing.

6. 特記仕様

- 1. 一般事項
1) 図面及び仕様事項に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁官庁標準の機械設備工事共通仕様書(平成9年版)以下「共通仕様書」(以下「仕様書」といふ)による。
2) 電気設備工事及び建築工事等と工事を含む場合は、電気設備工事及び建築工事それぞれ別の工事仕様書を適用する。
なお、電気設備工事仕様は( )内、建築工事仕様は( )内による。
2. 特記事項
1) 区分は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は ○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。
○印 ※印の場合は両方を適用する。

Table with 3 columns: 区分, 項目, 特記事項. Lists specific notes for different building sections.

- ① 工事用電力、水、その他
② 工事用仮設備
③ 土 工 事
④ 発生材の処理
⑤ 工事写真等
⑥ 完成写真
⑦ 完成図その他
⑧ 施工図等
⑨ 工事実施細則の発注
17. 総合調査
⑩ 説明書等
⑪ 図形表示
⑫ 電気容量及び機器表示
21. 負担金等
(消費税抜き)
⑬ 電 線 類

一般共通事項

- 23. 機器類の制御盤
⑭ 造 装
⑮ 保 温

本工事に必要な工事用電力、水などの費用は請負者の負担とする。
官公庁への請求手続きなどの費用は請負者の負担とする。
構内につくことが できる ○できない
イ) 建築士は ※ 掘切土中の負土(ヒューム管以外の管の周囲は山砂の層)
山砂の層
ロ) 掘切土は ※ 構外に搬出する場合(約 km) ・ 構内敷きならし
・ 構内の指定ある場所を確保
引渡しを要するもの。 ※ 無し ・ 有り( )
特別仕様設備等物 ※ 無し ・ 有り( )
再生資源の利用を図ると指定されたもの ※ 無し ・ 有り( )
引渡しを要するものは構外搬出処理とし、搬出及び処理費用は別途とする。
建設大臣官庁官庁標準仕様「工事写真の取り方(改訂第2版)―建設設備編―」によるほか、監督職員の指示による。
下記のものを原簿とも監督員に提出する。

Table with 4 columns: 分類規格, 枚数, 部数, 原簿の寸法(mm). Lists drawing specifications.

共通仕様書による完成図その他を監督員に提出する。 提出部数 3部
完成図はCADにより作成し、CADデータをMOまたはFD等にて提出する。
施工図の図面及び備忘録等(1部)を監督員に提出する。なお、当該建物の取付する施工図等の事務に係る当該建物に使用される発注者に移譲するものとする。(FDにて提出)
○ 必要
下記項目の各名称を行ない測定表を監督員に提出する。(2部)
① 風量調整 ・ 風量調整 ・ 室内空気中の湿度の測定 ・ 騒音の測定
・ 室内空気及びじんあいの測定 ・ 浄化槽の放流水水質
測定箇所等は監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器及び一部の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成する。
機器類は、図示する形状及び配管等の取出し位置により、特設業者の製品を指示、限定しない。
イ) 機器動作力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。
ロ) 機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
・ 給水引込負担金(加入金及び積付金等を含む) ( ・ 木事 ・ 別途) 円
・ ガス引込負担金 ( ・ 木事 ・ 別途) 円
・ 下水道等接続負担金 ( ・ 木事 ・ 別途) 円

イ) 本工事においては、次の電線類(EMケーブル)の規格を追加する。

Table with 5 columns: 呼称, 記号, JCS規格, 仕 様. Lists EM cable specifications.

ロ) EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。

Table with 3 columns: 記号, 仕 様. Lists EM cable specifications.

ハ) EMケーブルの電線の色等は、原則として建設大臣官庁官庁標準の電気設備共通仕様書(平成9年版)による。

共通仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする
・ 床下及び天井等の付属品の移動スイッチ二次側に埋込埋込計用の電源端子を設ける。
・ 床下及び天井は、共通仕様書 適用する。
・ 機器類によるケーブル用の材料及び仕様等は、共通仕様書 ※ 適用しない。 ・ 機器類によるケーブルの敷設、設置等の要領は、共通仕様書、ダクト及び支持金具、ダクト構成材料の仕様は行わない。 ○ 中央機械室 ○ 各機器室 ○ 倉庫
・ 電気室 ・ 自家発電
イ) 暖房熱源設備室内の配管の保温材は、ポリスチレンフォーム保温材とするものは別施工図別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。
ロ) 冷媒管の保温外装は 屋内露出 ・ 綿布 ・ 保温化粧ケース
屋外露出 ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース
材質は ・ 塩化ビニル樹脂製 ・ アルミ合金製 ・ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製

- 26. 防 塵 機 手
27. 弁 機 手
28. 弁 機 手
29. 埋 設 工 事
30. は つ り 工 事
31. 修 繕 等

一般共通事項

空気調和・暖房・換気設備

- ⑬ 支持金物・固定金具
33. 配管の建物内配
34. 異種管の接続
35. ポンプの電動機
⑭ 別 業 用 重
38. 浴槽配管の検査
⑮ 撤去工事
40. ステンレス鋼管の検査方法
41. 鋼管等の防食処理
⑯ 天井上区分
⑰ 工 事 安 全 計 画 書

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製(SUS304)とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製(SUS304)とする。
浴槽廻りについては(※ 2種35 ・ 2種50)
・ 給水 ・ ガス ・ 油) 配管の取付位置は 施工4と設置箇所は図示による。
標準施工3による。設置箇所は図示による。
浴槽ポンプの機器表に特記無しの場合は、4種以上とする。
図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。
「官庁施設の新築計画標準仕様書(平成9年版) (建設大臣官庁官庁標準仕様書)によるとし、施工は「産業設備設備設計・施工計(1997年版) (建設省住宅局建築指導課監修)による。
建物の種別 ・ 特定の施設 ○ 一般の施設
重要機器 ・ 防火機等 ・ 火災を使用する機器 ・ タンク類
・ ガス配管 ・ ガス配管以外( )
非鉄鋼管の適用 ※ 無し
・ 有り( ・ 放射線透過検査 ・ 遠透視検査または磁粉探傷検査)
採取率は、共通仕様書による。
除去する配管、ダクトの保護は取りずる。
75A未満の継手は、溶接検査 ・ メカニカル検査 ・ フランジ検査
排水用排水パイプリング鋼管の土中埋設部は防食処理を行う。
⑯ 工事の署名は天井上を示し、その他は天井下を示す。
建設工事安全対策防止対策要綱及び建設工事安全対策工務指針を参考に、工事安全計画書を作成し、監督職員に提出する。

- 1. 設計用気象条件
2. 冷水・温水・冷温水・ドレン管
3. 冷却水管
4. 脚架・空気機・給排水管
5. 高気給気管
6. 高気送水管
7. 油・油・油・油
8. 冷凍管
9. ファン類
10. ファンコイルユニット
11. 天井吊り形FCU及び全熱交換機風扇
12. 放 熱 機
13. 吸出口・吸込口
14. ダクト
15. 防塵・防火ダンパー
16. チャンバー等
17. 消音内貼り
18. グリス除去装置
19. 簡易測定計及び流量測定口

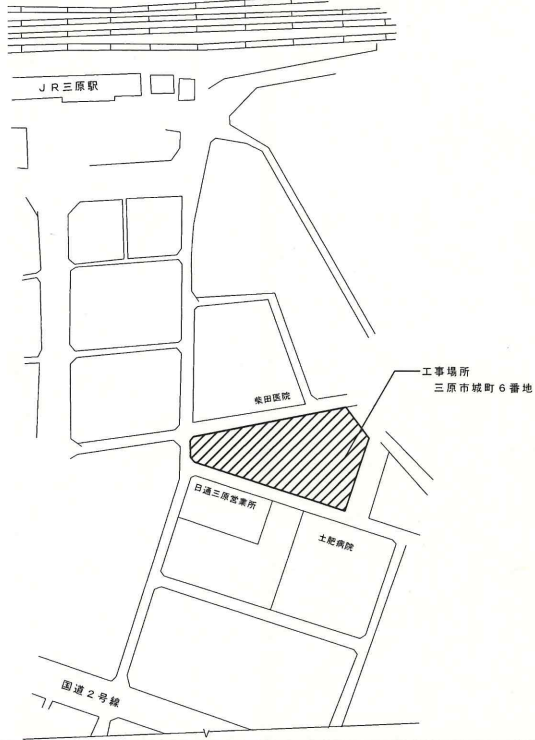
Table with 3 columns: 外気条件, 空 内 (設備目標値), 空 内 (設備目標値). Includes a table for air conditioning conditions.

※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管(VP)
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 塩化ビニル管(VP) ・ ポリ塩化ビニル管
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304)
※ 配管用炭素鋼管(黒管)
※ 圧力配管用炭素鋼管(STPG370 黒 sch40)
※ 配管用炭素鋼管(黒管)
※ 断熱材被覆鋼管(製造標準品) ・ 鋼管
JIS5Kとする。ただし、特記部分はJIS10Kとする。
※ 流量調整弁
・ 変流弁( ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジリフリス式) を取付ける。
イ) カセット形の流量調整ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームとする。
ロ) 流量調整弁のフランジプレートは全鋼製(ステンレス、鋳鉄も含む)とする。
イ) 流量調整弁及びフランジコック又はトランプを取付ける。
ロ) 流量調整弁等 ・ 取付ける ・ 取付けない
イ) アルミニウム製は塗装 ※ 行わない
ロ) 吸込口GVFは防炎防火シャッター付吸込口を示す。
イ) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト
ロ) 矩形ダクトは ※ アングルフランジ工法
・ コーナポルト工法( ・ 共納工法 ・ スライドフランジ工法)
(長径150mmを越えるものはアングルフランジ工法とする。)
ハ) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mm、1.6mm鋼板製とする。
二) 厨房用ダクトの取付は「火災予防条例(条例)」を適用する。
イ) 防塵ダンパーは ※ 電気式 ・ 空気式 ・ 復巻機構 ※ 遠隔式 ・ 半元式
ロ) 電気式防塵ダンパーの動作用電圧、電流はDC24V、0.6A以下とする。
イ) 排気口には、長さ100×300×300mmの防塵チャンパーを設ける。
ロ) シュードラフトチェンバーの仕様は(他41)による。
施工に付随する場所はフレキシブルダクトを適用してもよい。
ハ) 取付に際してはガリにチャンパー等を取付ける場合は原則として排水を考慮する。
イ) 吸出口接続チャンパー及び取付したダクト並びにチャンパー一組とする。
ロ) 内貼りチャンパー一組の寸法は、外装寸法とする。
ハ) 吸出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。
点検口の寸法は、原則として400×600とする。
・ グリスエクストラクター ・ グリスフルーター
イ) 形式はピストン式(ロック付)とする。 ・ 着脱式
ロ) 下記の取付、若しくは図面により取付ける。

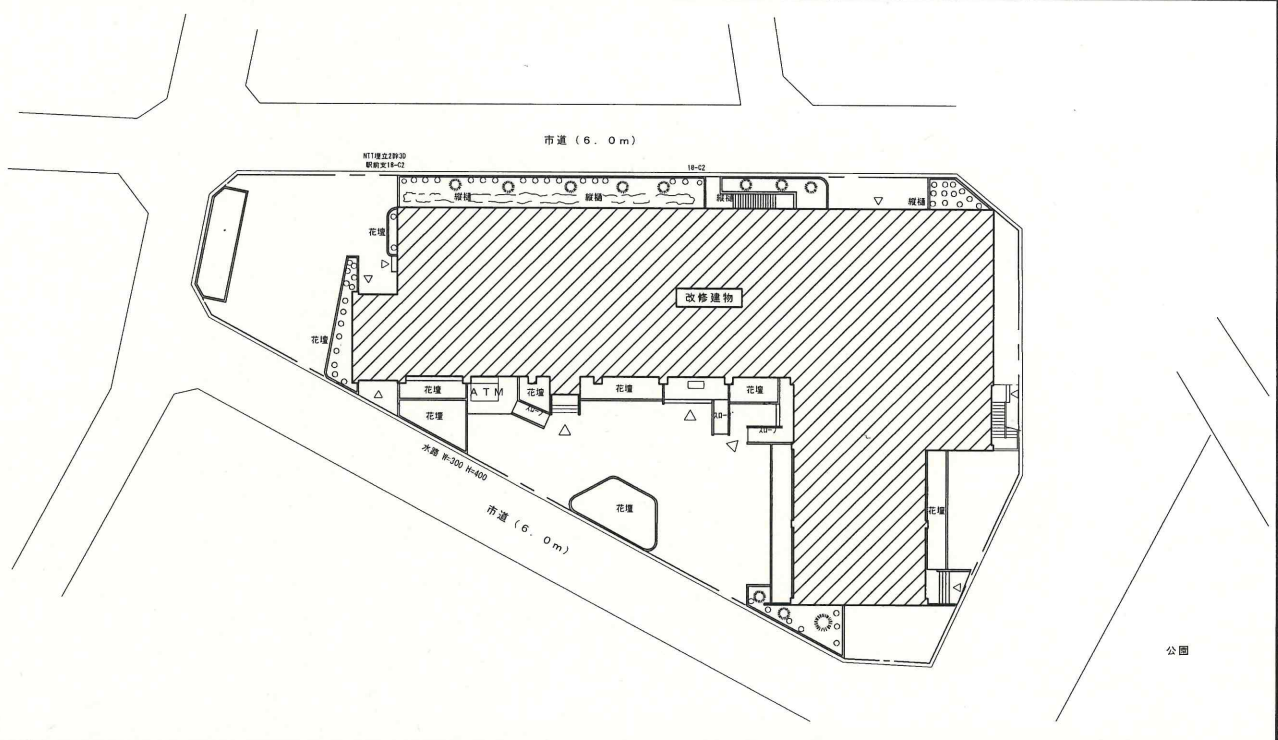




付近見取図



配置図 1/300



凡例

| 記号 | 名称  | 管種                    | 規格         | 備考              |
|----|-----|-----------------------|------------|-----------------|
|    | 給水管 | 硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA | JWNA K 116 | 継手は、管端コア内継手とする。 |
|    | 給湯管 | 保温付被覆鋼管 Mタイプ          |            |                 |
|    | 汚水管 | 硬質塩化ビニル管 VP           | JIS K 6741 |                 |
|    | 排水管 | 硬質塩化ビニル管 VP           | JIS K 6741 |                 |

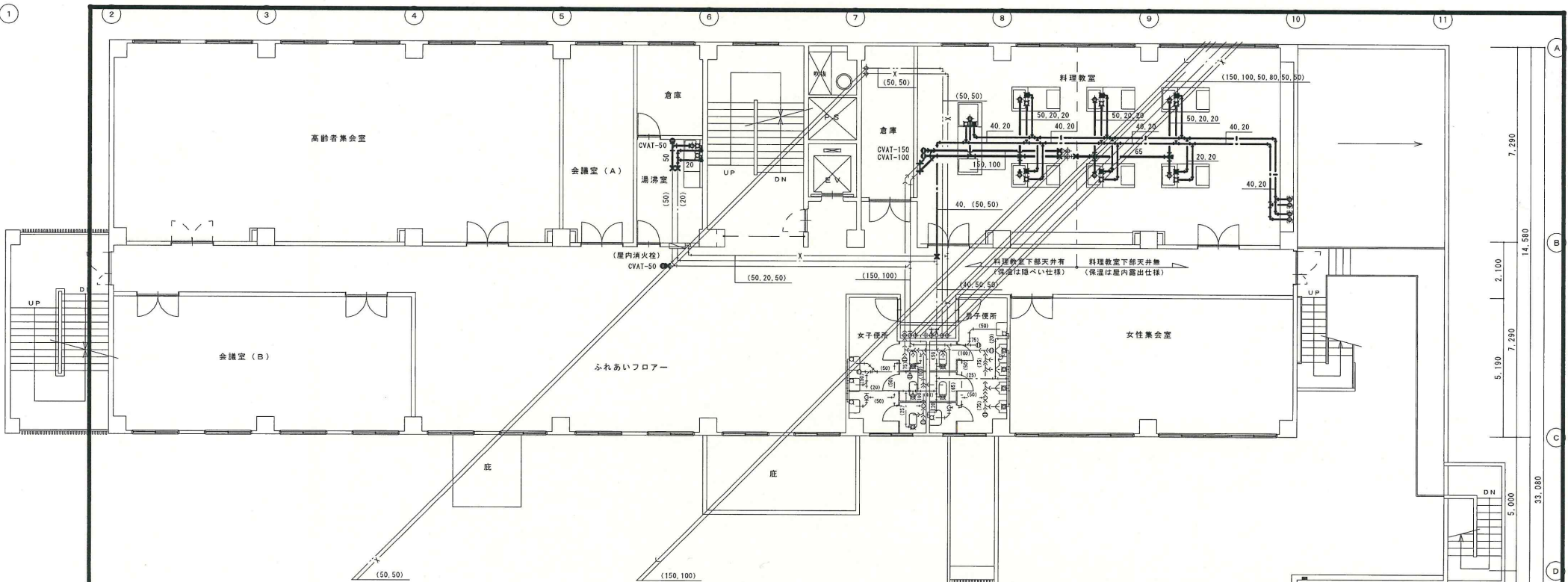
保温仕様

| 区分  | 施工箇所   | 保温種別    |
|-----|--------|---------|
| 給水管 | 天井内    | o (□) V |
| 給湯管 | 屋内露出   | a (□) V |
| 汚水管 | 機械室・倉庫 | a (□) V |
| 給湯管 | 屋内露出   | a (□) I |

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの場合は、請負金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。





器具表 (湯沸室)

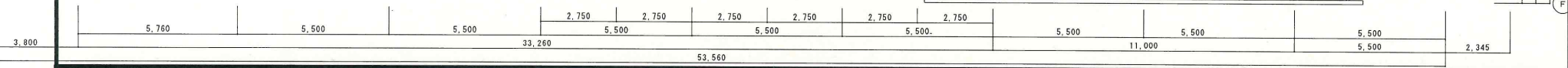
| 名称      | 規格                   | 数量 | 備考 |
|---------|----------------------|----|----|
| 自在水栓    | I3-F10A 泡沫 (T136S13) | 1  |    |
| アングル止水栓 | 15A (湯沸器用) (T4AU)    | 1  |    |
| 床上掃除口   | CVAT - 50            | 2  |    |
|         |                      |    |    |
|         |                      |    |    |

器具表 (料理教室)

| 名称         | 規格                | 数量 | 備考       |
|------------|-------------------|----|----------|
| 生徒用調理台     | (建築工事)            | 6  | 配管接続は本工事 |
| 教師用調理台     | (建築工事)            | 1  | 配管接続は本工事 |
| 床上掃除口      | CVAT - 100        | 1  |          |
| 床上掃除口      | CVAT - 150        | 1  |          |
| 逆止弁付ボールバルブ | 20A (湯沸器用)        | 2  |          |
| 給水フレキ      | 20A x 300L (湯沸器用) | 2  |          |

凡例

|  |         |
|--|---------|
|  | 穴明け補修部分 |
|  | 既設管     |
|  | 既設管接続所  |



市民福祉会館改修工事 (衛生設備工事)

設計図

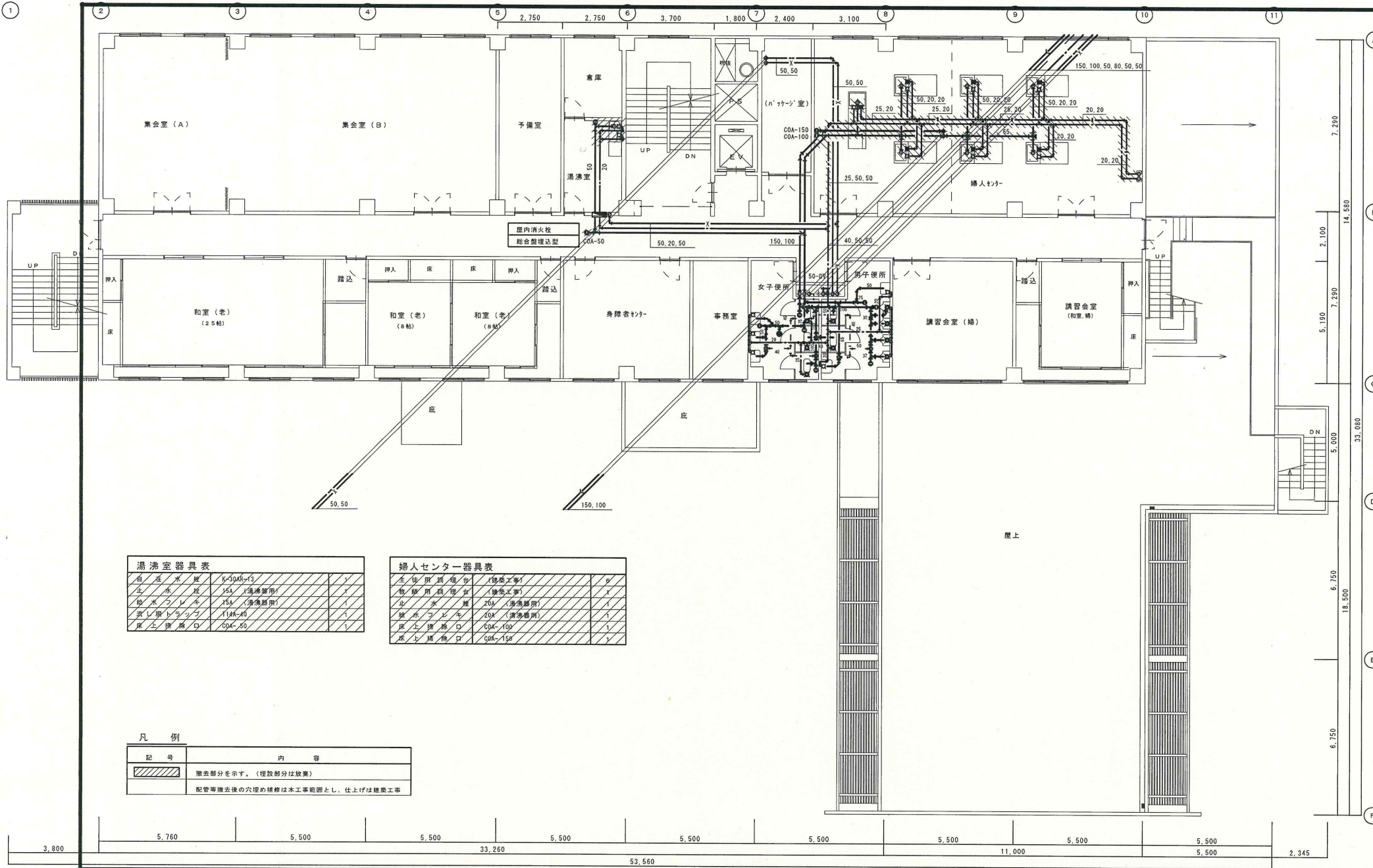
Date

図面名称 2階平面図 (改修後)

Scale 1/100

No. W-4





| 品名     | 規格         | 数量 | 備註 |
|--------|------------|----|----|
| 湯沸器    | W-50A5-13  | 1  |    |
| 給水パイプ  | 15A (湯沸器用) | 1  |    |
| 排水パイプ  | 15A (湯沸器用) | 1  |    |
| 排水トラップ | 11AA-R0    | 1  |    |
| 床土埋戻し  | 60A-50     | 1  |    |

| 品名     | 規格         | 数量 | 備註 |
|--------|------------|----|----|
| 洗面器    | 20A (湯沸器用) | 1  |    |
| 排水パイプ  | 20A (湯沸器用) | 1  |    |
| 排水トラップ | 20A (湯沸器用) | 1  |    |
| 床土埋戻し  | 60A-100    | 1  |    |
| 床土埋戻し  | 60A-150    | 1  |    |

| 記号 | 内容                            |
|----|-------------------------------|
|    | 撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)             |
|    | 配管等撤去後の穴埋め補修は木工事範囲とし、仕上げは建築工事 |

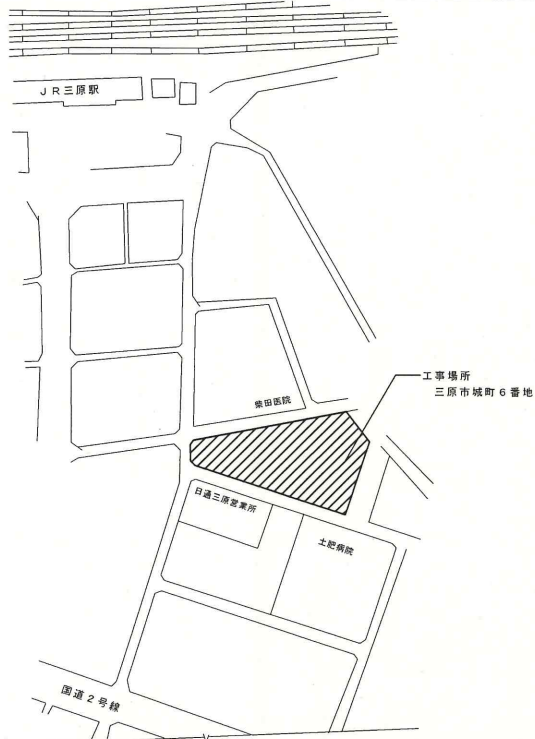
|        |       |       |       |        |       |       |       |       |       |        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 3,800  | 5,760 | 5,500 | 5,500 | 33,260 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 11,000 | 5,500 | 5,500 | 2,345 |
| 53,560 |       |       |       |        |       |       |       |       |       |        |       |       |       |



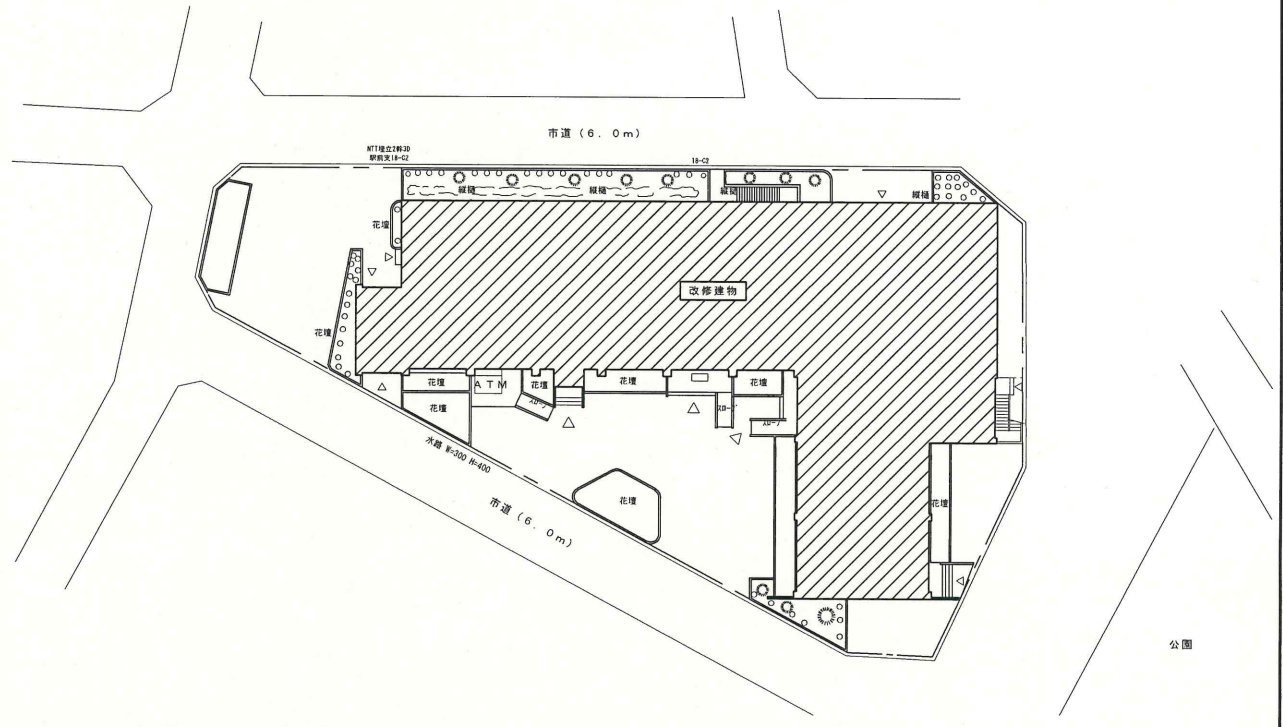




付近見取図



配置図 1/300



凡 例

| 記号 | 名称  | 管種                    | 規格         | 備考              |
|----|-----|-----------------------|------------|-----------------|
|    | 給水管 | 硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA | JWWA K 116 | 継手は、管端コア内取付とする。 |
|    | 汚水管 | 硬質塩化ビニル管 VP           | JIS K 6741 |                 |
|    | 排水管 | 硬質塩化ビニル管 VP           | JIS K 6741 |                 |

保温仕様

| 区分  | 施工箇所   | 保温種別    |
|-----|--------|---------|
| 給水管 | 天井内    | e (口) V |
| 排水管 | 屋内露出   | a (口) V |
| 汚水管 | 機械室・倉庫 | a (口) V |

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの場合は、請負金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。

市民福祉会館改修工事 (衛生設備工事)

設計図

Date

図面名称 付近見取図 配置図 凡例

Scale 1/300

No. W-3

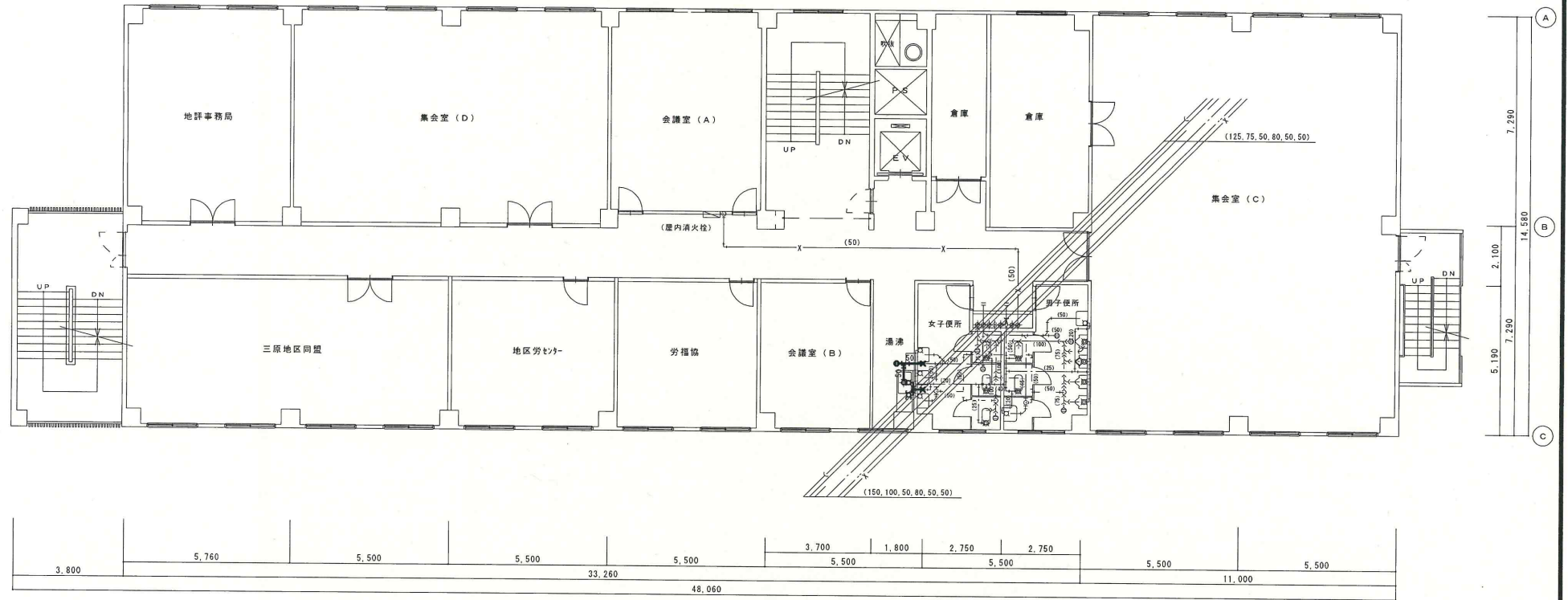


凡 例

|     |         |
|-----|---------|
| ( ) | 既設管     |
| —X— | 既設管接続ヶ所 |

器具表 (湯沸)

| 名称      | 規格                   | 数量 | 備考 |
|---------|----------------------|----|----|
| 自在水栓    | I3-F10A 泡沬 (T136S13) | 1  |    |
| アングル止水栓 | 15A (湯沸器用) (T4AU)    | 1  |    |
| 床上げ排水口  | CVAT-50              | 1  |    |



市民福祉会館改修工事 (衛生設備工事)

設計図

図面名称 3階平面図 (改修後)

Date



Scale 1/100

No. W-4

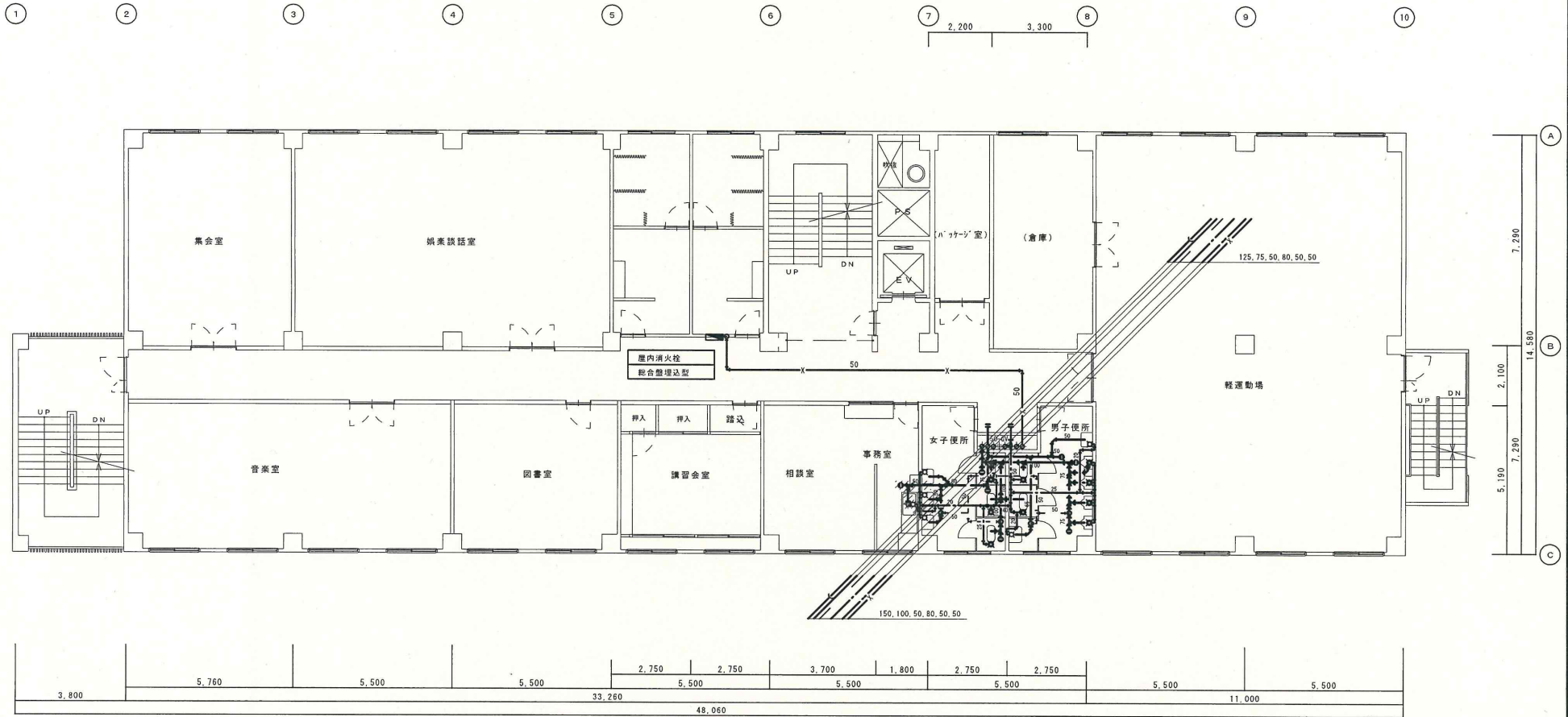




凡 例

| 記号  | 内 容                           |
|---|-------------------------------|
|  | 撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)             |
|  | 配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事 |

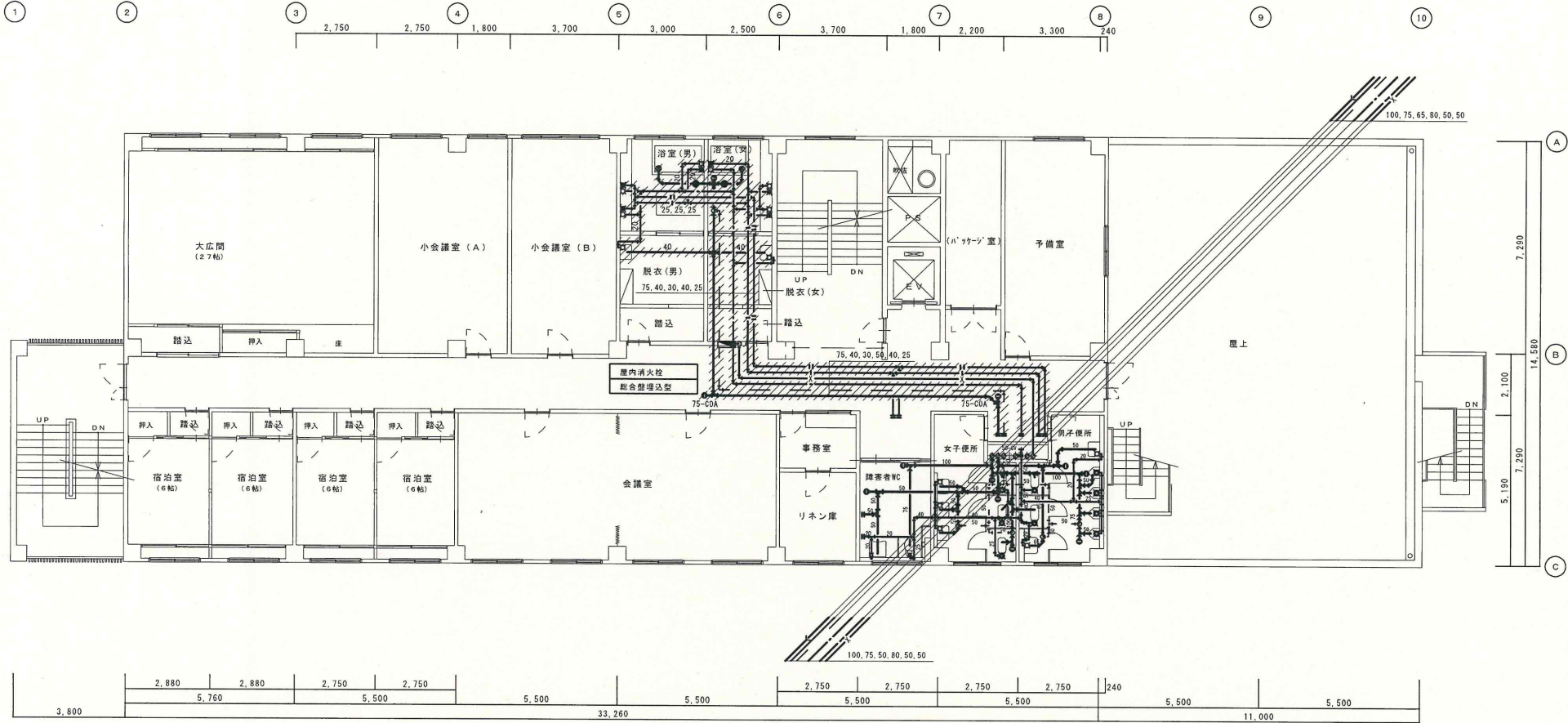
| 事務室 (湯沸) 器具表 |           |   |
|--------------|-----------|---|
| 湯 差 水 栓      | 1/20A6-r3 | 1 |
| 沸 騰 不 器 器 具  | 114A-40   | 1 |
| 注 上 用 器 具    | 20A-50    | 1 |



凡例

| 記号 | 内容                            |
|----|-------------------------------|
|    | 撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)             |
|    | 配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事 |

| 脱衣・浴室器具表 |           |   |
|----------|-----------|---|
| 脱衣水栓     | K-250-13  | 4 |
| 脱衣排水用    | K-250-13  | 4 |
| 洗面水栓     | K-250-28  | 2 |
| 同上排水     | K-250-20  | 2 |
| 化粧鏡      | YS149A8-2 | 4 |
| 床排水トラップ  | F59-50    | 5 |
| 排水水栓     | KSKA8-50  | 2 |
| 床土漏れ口    | GD6-60    | 1 |
| 洗面鏡      | L-2200    | 2 |
| 化粧鏡      | YS149A8-2 | 2 |
| 化粧鏡      | A-2       | 2 |



市民福祉会館改修工事（衛生設備工事）

設計図

図面名称 4階平面図（改修前）

Date

Scale 1/100

No. W-7